

「ともの家」設立の経過

- 昭和63年 6月 障がいが高くても、通える施設がほしいという障がい者や家族の切実な願いから、障がい種別や程度にこだわらず、一人ひとりが精いっぱい生き、働き、明るく豊かな人生を築くことを目指し、「清水市重症心身障害児者を守る会」と障害児問題勉強会「ほうせんか」が中心となって、春日町に民家を借りて共同作業所としてスタートする。
- 平成 3年 4月 静岡県の単独事業である「小規模授産所B型：定員20名」として、県・市の助成対象事業をスタートする。
- 訓練・作業の2本立てでの取り組みの中では、その人らしさを大切にし、一人の人間として、成人した大人として豊かな人格形成を目標とする。
- 平成 5年12月 民家の老朽化と不便さから建設委員会を発足し、募金活動等建設運動を始める。
- 平成 6年11月 多くの方々の協力を得て、新施設完成移転（現在の船越東町）。設備も充実し、作業・訓練の内容も充実させて再出発する。
- 平成 9年 9月 生活の充実や親亡き後の暮らしのため、生活寮「ケアハウスとも」を清水市辻町に開設。
- 平成10年12月 「生活寮」西大曲に移転。
- 平成14年 4月 社会福祉法人清水あすなろ福祉会に参入。
- 小規模授産所の助成だけでは、財政面で厳しいことや、法人格を取得したことで、重度障がいのための通所施設が開設できるとの理由から、正確訓練ホーム（県単独事業）を開設。小規模授産所との併設となる。
- 平成15年 5月 通所人数が毎年増え、船越が手狭になったため、清水区村松原に住宅つき店舗を借り、6名の仲間が移動。2号店「ヴィーブル」として、開店する。
- 平成18年10月 障害者自立支援の下に生活寮がグループホーム・ケアホーム事業に移行。
- 平成19年 4月 障害者自立支援法の下に通所部門を生活介護事業（定員20名）・就労継続支援B型事業（定員10名）に移行。
- 平成24年 4月 グループホーム「SUN」開所